

旅客船ターミナルの整備により、 離島の安定した輸送・生活物資供給を確保

くりい
file02 **来居港**

対象施設 来居地区旅客船ターミナル 岸壁(-6.5m)
供用 平成12年

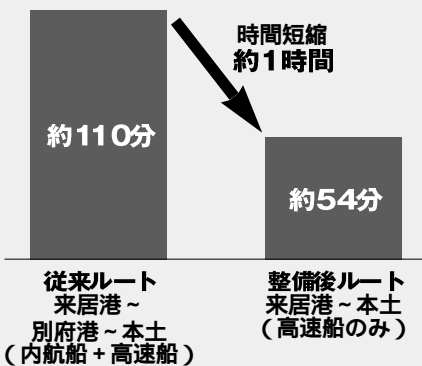
来居港は島根県隠岐諸島の知夫里島(知夫村)に位置し、知夫村の玄関口として、離島航路の寄港地となっている。本土と結ぶフェリーの年間乗降客数は約12万人。知夫村で必要とされる生活物資の約95%は来居港を利用して搬入されており、島民の生活は来居港なしには成り立たない。

来居港に水深5.5mの岸壁を整備(昭和57年供用)したことで、大型フェリーが就航可能となり、輸送の大量化と迅速化が図られ、生活物資の供給の安定化が図られた。

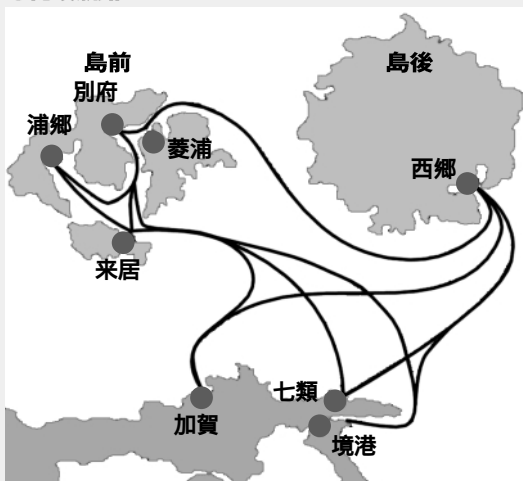
平成11年には、高速旅客船ターミナルの岸壁6.5mを整備し、来居港~本土間の輸送時間が約1時間も短縮された。



●輸送時間の短縮



●隠岐航路



第2部
個別港湾事例

●大型フェリーによる輸送の大量化・迅速化



●高速船利用の乗降客



●生活物資の積み卸し



●高速旅客船「レインボー」

